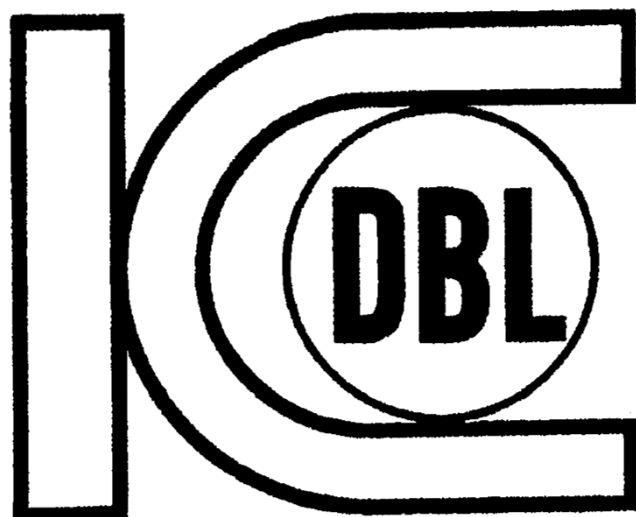


第33回
全神奈川ろう社会人軟式野球
春季大会



2018年

4月 1日(日) 平塚市大神スポーツ広場

4月 8日(日) サーティフォー相模原球場

リーグ戦

Aグループ

順位	チーム	勝	敗	引	得点	失点	千葉	湾岸	新横浜	東京
1	千葉BBC	3	0		27	5		○ 10-0	○ 11-0	○ 6-5
4	湾岸煌ファイターズ	0	3		3	33	● 0-10		● 3-13	● 0-10
3	新横浜メアウェーブ	1	2		22	24	● 0-11	○ 13-3		● 9-10
2	東京かしわクラブ	2	1		25	15	● 5-6	○ 10-0	○ 10-9	

Bグループ

順位	チーム	勝	敗	引	得点	失点	関越	湘南	相模原	神奈川
4	関越フェニックス	0	3		17	37		● 0-18	● 10-11	● 7-8
1	湘南ヤンキース	3	0		70	1	○ 18-0		○ 7-0	○ 45-1
2	相模原ろう野球クラブ	2	1		27	18	○ 11-10	● 0-7		○ 16-1
3	神奈川シャローム	1	2		10	68	○ 8-7	● 1-45	● 1-16	

優勝決定戦

Aグループ1位

千葉BBC

0 - 7

Bグループ1位

湘南ヤンキース

2018年4月1日(日) 平塚市大神スポーツ広場(F面)

第1試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
湾岸煌ファイターズ	0	0	0					0
千葉BBC	4	4	2x					10

※得点差により、3回コールド

湾岸煌ファイターズ : ●宮内一星野

千葉BBC : ○和光、嶋形一秋本

本塁打:

三塁打: 若月(千葉)

二塁打: 秋本、若月2、嶋形(以上千葉)

千葉BBCは初回、1番秋本が二塁打で出塁し、6番若月のタイムリー二塁打で先制する。若月は2回にも二塁打、3回に三塁打を放つ活躍をし、3回コールド勝ちと順調になスタートを切った。敗れた湾岸煌ファイターズは和光、嶋形両投手にノーヒットに抑えられた

第2試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
東京かしわクラブ	0	0	0	2	3	5		10
新横浜メーアウェーブ	6	1	0	0	1	1		9

※時間切れにより、6回コールド

東京かしわクラブ : 小池、○伊東一毛塚、小池

新横浜メーアウェーブ : 玉田、竹村、●田村一竹村、田村、玉田

本塁打:

三塁打:

二塁打: 竹村(新横浜)

新横浜メーアウェーブは初回、1番田村が死球、2番玉田のヒットでチャンスを広げ、4番井浪のタイムリーなどで6点先制する。5回、東京かしわクラブが押し出し四死球などで2点差にせまると、6回に6番由川のタイムリーで逆転し、試合をひっくり返した。新横浜メーアウェーブは終盤の四死球、エラーが響いた。

第3試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
新横浜メーアウェーブ	0	0	0					0
千葉BBC	6	5	x					11

※得点差により、3回コールド

新横浜メーアウェーブ : ●竹村、田村一玉田

千葉BBC : ○小宮、和光一秋本

千葉BBCは初回、2番石橋が失策で出塁すると5番若月がセカンドへタイムリーを放ち6点先制すると2回にも1番秋本のタイムリーなどで5点加点し、2試合連続3回コールド勝ち。敗れた新横浜メーアウェーブは前試合の迫力がなくあっさり勝負をつけられてしまった。

第4試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
湾岸煌ファイターズ	0	0	0	0				0
東京かしわクラブ	2	5	0	3x				10

※時間切れにより、4回コールド

湾岸煌ファイターズ : ●秋本一須藤

東京かしわクラブ : ○毛塚一若月中原

本塁打:

三塁打:

二塁打: 小倉、伊東(祐)、亀田(以上東京)、秋本(湾岸)

東京かしわクラブは初回、1番中がヒットで出塁すると3番亀田の2点タイムリーで先制する。2回にも9番伊東(祐)のタイムリー二塁打、4回に3番亀田のタイムリー二塁打で加点し、4回コールド勝ち。敗れた湾岸煌ファイターズは9番秋本の二塁打のみと打線が沈黙した。

2018年4月1日(日) 平塚市大神スポーツ広場(G面)

第1試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
湘南ヤンキース	6	12	0					18
関越フェニックス	0	0	0					0

※得点差により、3回コールド

湘南ヤンキース : ○吉野一平松

関越フェニックス : 鈴木、●小林、田巻一青柳

本塁打: 源(湘南)、滑川(湘南)

三塁打:

二塁打: 加藤(湘南)、池野(湘南)

湘南ヤンキースは初回、1番源が内野安打で出塁すると3番加藤、4番池野の連続タイムリー二塁打で6点先制する。2回に1番源、6番滑川のランニングホームラン飛び出すなど打線が爆発し、圧勝。敗れた関越フェニックスは吉野相手に参考記録ながらノーヒットノーランに抑えられた。

第2試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
相模原ろう野球クラブ	3	7	0	6				16
神奈川シャローム	1	0	0	0				1

※得点差により、4回コールド

相模原ろう野球クラブ : ○佐藤(武)一二見

神奈川シャローム : ●小佐野一中川

本塁打: 宮坂(相模原)、小國(相模原)

三塁打:

二塁打: 宮坂、二見、関根(以上相模原)

相模原ろう野球クラブは初回、1番関根が四球で出塁すると4番宮坂の3点ランニングホームランで先制する。2回に小國のランニングホームラン、4回に4番宮坂、5番二見の連続タイムリー二塁打などで加点し、4回コールド勝ち。敗れた神奈川シャロームは8三振と打線に元気がなかった。

第3試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
関越フェニックス	9	0	0	1				10
相模原ろう野球クラブ	3	3	5	x				11

※得点差により、4回コールド

関越フェニックス : 田巻、小林、●成田一青柳

相模原ろう野球クラブ : 二見、谷口、○佐藤(武)一宮坂

本塁打: 原(関越)

三塁打:

二塁打: 原(関越)、宮坂(相模原)

関越フェニックスは初回、1番竹村の四球を筆頭に4番小林のタイムリー、2巡目の2番原がランニングホームランで9点先制する。その裏相模原ろう野球クラブは4番宮坂のタイムリー二塁打などで3点、2回にも3点加点すると3回、4番宮坂のタイムリー二塁打で逆転に成功する。関越フェニックスは初盤のリードを守れなかった

第4試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
湘南ヤンキース	9	24	12					45
神奈川シャローム	1	0	0					1

※得点差により、3回コールド

湘南ヤンキース : ○加藤一緒方

神奈川シャローム : ●小佐野、中川、三浦、中川、尾形、小佐野一中川、小佐野、竹中

本塁打: 滑川、勝又(以上湘南)

三塁打: 加藤、勝又(以上湘南)

二塁打: 源2、滑川3、加藤2、若月、古川、緒方2、勝又(以上湘南)

湘南ヤンキースは初回、2番滑川のランニングホームランなどで9点先制し、2回は打者三巡の猛攻で24点得点し、圧勝する。敗れた神奈川シャロームは初回1番尾形のヒット、2番中村のタイムリーの1点とるのがやっとだった。★45得点は大会新記録である。

第5試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
千葉BBC	2	0	3	0	0	1		6
東京かしわクラブ	3	0	0	0	0	2		5

※時間切れにより、6回コールド

千葉BBC : ○和光一秋本
 東京かしわクラブ : ●伊東祐貴一毛塚

1回裏、東京かしわクラブは4番細根のタイムリー、6番中原のタイムリーエラーで逆転する。3回に千葉BBCは2番内田の四球で出塁すると4番鶴岡、5番川口、6番佐藤の3連続タイムリーで再逆転。6回も1点追加し、決勝戦進出を決めた

第6試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
神奈川シャローム	0	3	2	2	1			8
関越フェニックス	0	1	6	0	0			7

※時間切れにより、5回コールド

神奈川シャローム : 中川、○池田一中野
 関越フェニックス : ●菊地一小林

本塁打:
 三塁打:
 二塁打:一場(神奈川)

2回神奈川シャロームは5番箱山の失策、6番中野の四球でチャンスを作ると9番中村の2点タイムリーで先制するその後の得点を重ね、勝利をおさめる。敗れた関越フェニックスは3回に小林のタイムリーで一時的に逆転するも途中から変わった池野投手を攻略出来ず敗れた

第7試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
湾岸煌ファイターズ	2	1	0					3
新横浜メアアウェーブ	2	4	7x					13

※得点差により、3回コールド

湾岸煌ファイターズ : ●秋本、宮内一須藤
 新横浜メアアウェーブ : ○浅見(健)一玉田

本塁打:
 三塁打:竹村、浅井(以上新横浜)
 二塁打:

初回、新横浜メアアウェーブは1番竹村が三塁打で出塁し、ワイルドピッチなどで同点にする。2回に2番玉田のタイムリー、3回に5番浅井のタイムリー三塁打で勝負を決めた。敗れた湾岸煌ファイターズは初回1番宮内、2番須藤のヒットでチャンスを作り、4番秋本のタイムリーで2点先制するも後続が続かなかった。

第8試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
湘南ヤンキース	3	0	3	1	0			7
相模原ろう野球クラブ	0	0	0	0	0			0

※時間切れにより、5回コールド

湘南ヤンキース : ○勝又一池野
 相模原ろう野球クラブ : ●池田一宮坂、二見

湘南ヤンキースは初回、1番源がヒットで出塁すると5番滑川の2点タイムリー6番勝又のタイムリーで3点先制する。3回にも8番吉野のタイムリーエラー、9番今野の2点タイムリー内野安打で得点を重ね、決勝戦進出を決めた。敗れた相模原ろう野球クラブは勝又相手に5回参考ながらノーヒットノーランに抑えられた

優勝決定戦

	1	2	3	4	5	6	7	計
湘南ヤンキース	4	0	0	0	0	1	2	7
千葉BBC	0	0	0	0	0			0

湘南ヤンキース : ○吉野一加藤
 千葉BBC : ●和光、石橋一秋本

本塁打:和田(湘南)
 三塁打:滑川(湘南)
 二塁打:

湘南ヤンキースは初回、2番勝又が四球で出塁し、ワイルドピッチなどで4点先制する。6回9番和田がランニングホームラン、7回に4番滑川のタイムリー三塁打を放ち、7年連続18回目の優勝を決めた。敗れた千葉BBCは先発和光の乱調が響き、2年連続2回目の準優勝となった。